

CL-E300-LFX

感熱ダイカットラベル設定マニュアル カッター利用あり



▼物流ラベル（現品票）



▼物流ラベル（荷札ラベル）



▼処方ラベル



▼食品ラベル



▼産直ラベル



▼読書手帳ラベル



Rev. 3.40

株式会社ムーブ

1) プリンターの設定

用紙センサー位置の調整

⇒ 詳細は取扱説明書 P.47 及び P.48 を参照してください。

製品出荷時は、下記の位置にセットされています。

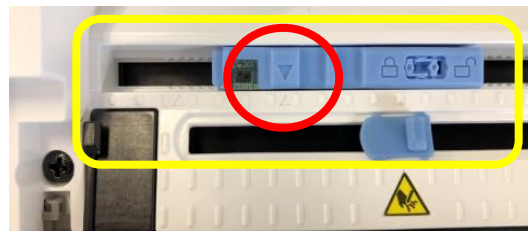
アップパーセンサー 一番右

アップパーセンサーの▼を本体の△に合わせた位置



ボトムセンサー 左から10番目

ボトムセンサーの▼を本体の△に合わせた位置



弊社の標準ダイカットラベルを使用する場合は、製品出荷時設定の位置から動かさないでください。

カッター

台紙を含むラベル長が25.4mm (1インチ) 以下の場合はカットせず、25.4mm以上かつ印刷終了の時点でカットします。

ヘッド圧バランスの調整

ご使用になる用紙幅に合わせてヘッド圧バランスの調整をして下さい。

ヘッド圧バランス調整の目的

- 1) 片側の印刷がかすれないようにする。
 - 2) 用紙の蛇行を防止する。
 - 3) ラベルに対し、一定のヘッド圧をかける。
 - 4) ゴミ噛み込みによるヘッド破損防止。
- 調整後は、テスト印刷をして確認してください。

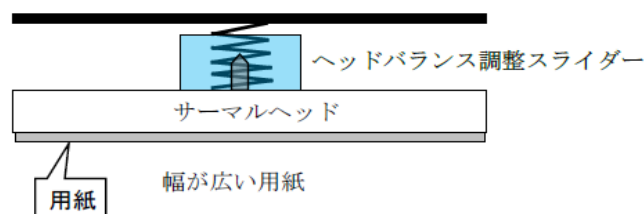
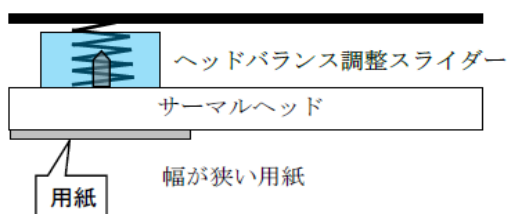
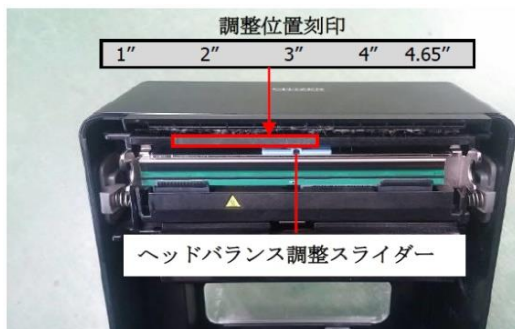
注意) 幅が狭い用紙を使用する場合は、必ず調整を行ってください。(調整を行わないと、ヘッドの破損を招きます。)

サーマルヘッド付近にあるヘッドバランス調整スライダー (青色) をペン先のような先端が細いものでスライドさせます。調整スライダーの上部に目安となる数値が刻印されていますので、上リボンカバーを開けた状態で調整を行ってください。

1" = 1インチ(25.4mm)幅、2" = 2インチ(50.8mm)幅、3" = 3インチ(76.2mm)幅、

4" = 4インチ(101.6mm)幅、4.65" = 4.65インチ(118.11mm)幅

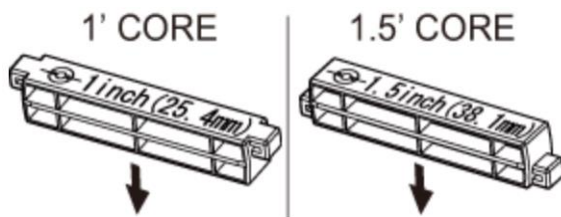
注意) サーマルヘッド表面に触れないで調整を行ってください。



※ 印刷濃度によりスライダー調整が必要となる場合があります。

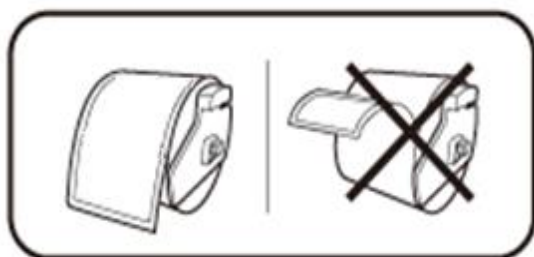
用紙のセット

ロール紙コア内径に応じて用紙シャフトの向きを
下図の通りに合わせてください。

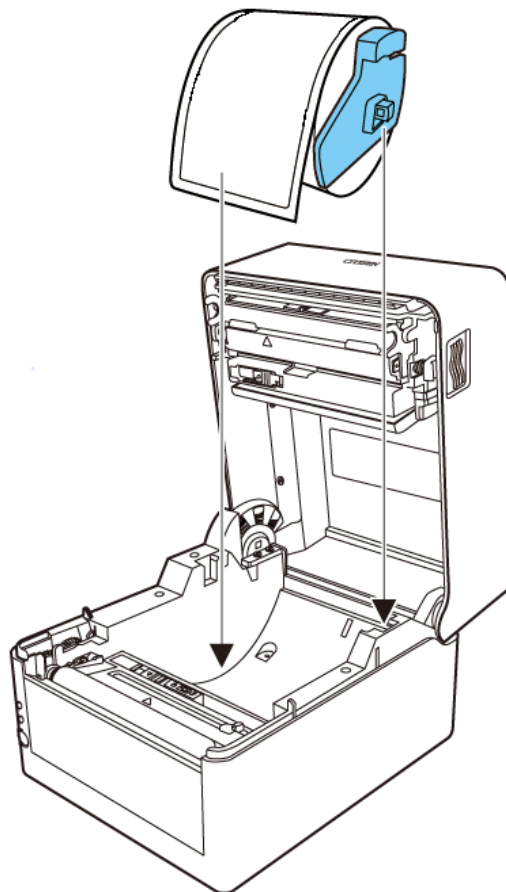


1インチの内径でも、ロール紙の下が
プリンター内部の底に当たるようでしたら
用紙シャフトは右図の1.5インチにして
ご使用ください。

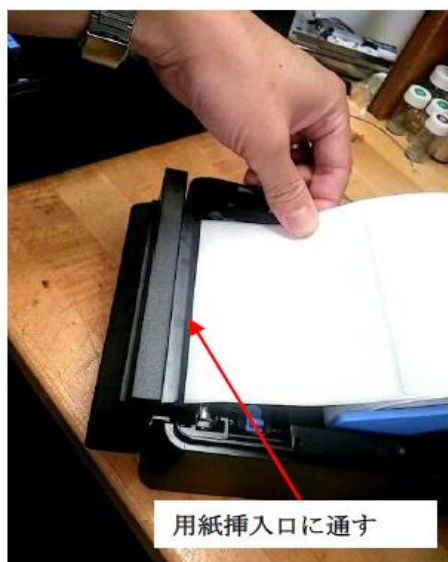
用紙セット向き



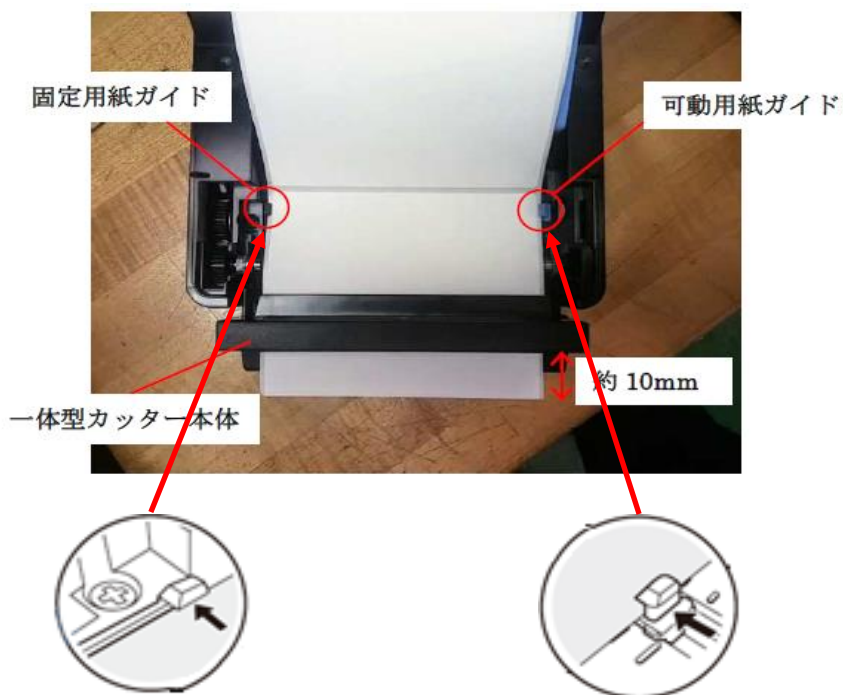
用紙セット位置



カッターのスリットに用紙を通す。



用紙ガイドの左右をセット

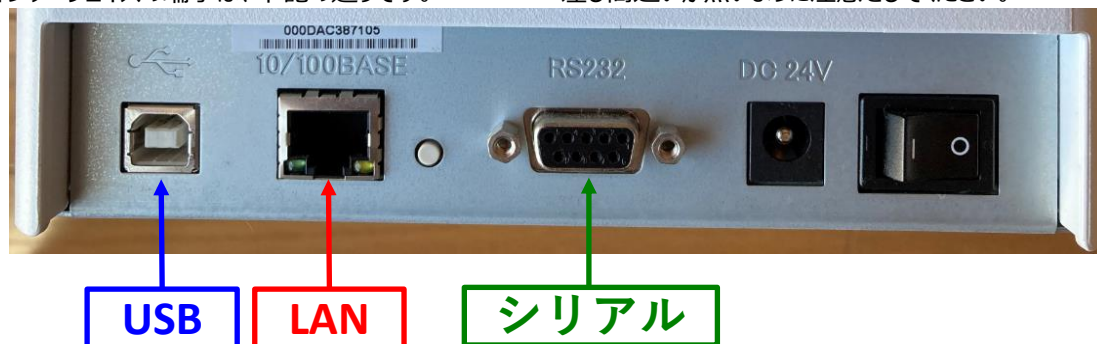


用紙ガイド (左側)に用紙を当てた状態で、
用紙ガイド (右側) の位置を用紙幅に合わせて用紙をセット。
プリンター前面から、約10 mm
用紙先端を前に出してセットしてください。

インターフェイス

各インターフェイスの端子は、下記の通りです。

差し間違いが無いように注意してください。



USB

USBでご使用の場合は、まだPCとラベルプリンターを接続しないでください。

まずは、Windowsプリンタードライバをインストールしてください。
プリンターの出荷時設定は、お客様がご使用になる用紙に合わせて出荷している為、基本的にプリンターの設定を変更する必要はございません。
プリンターの設定変更が必要な場合は、プリンタードライバをインストール後、LFX_LabelPrinterUtility.exeで、プリンターの設定を変更してください。

本設定マニュアルでは、USB/LAN/シリアル 全てのインターフェイスの説明があります。
使用するインターフェイスの設定をご覧ください。

USBをご利用の方

プリンター本体の設定は特に必要ございません。
プリンターのプリンターのメモリースイッチの設定変更説明へお進みください。
⇒ P.9へ

LANをご利用の方

IPアドレスの設定へお進みください。
IPアドレスを設定する場合、DHCPはDisable(OFF)に変更して下さい。
⇒ P.4へ

シリアルをご利用の方

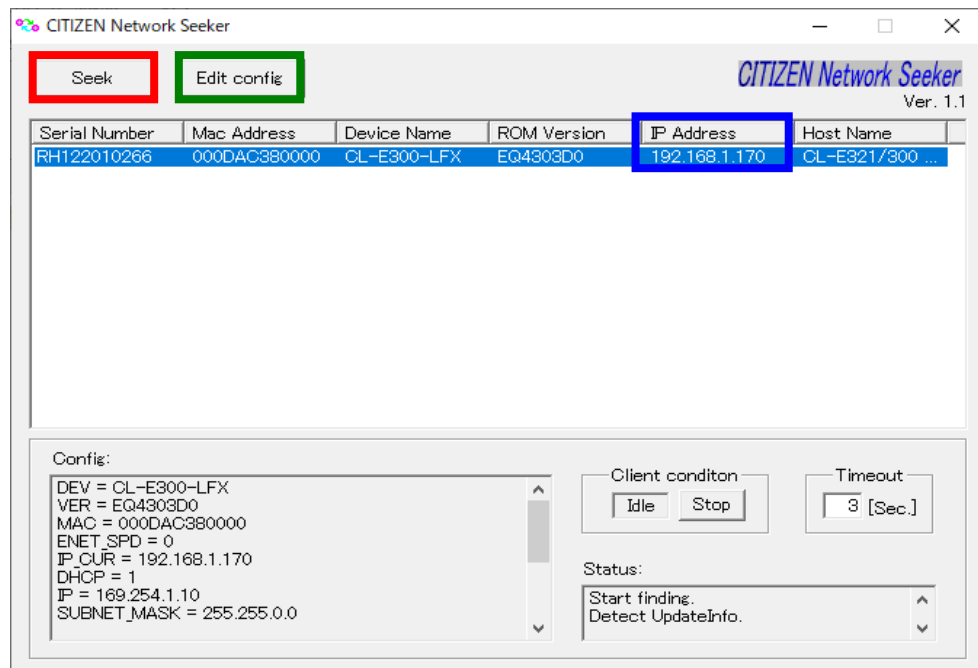
ボーレート等の設定説明へお進みください。
⇒ P.8へ

LAN

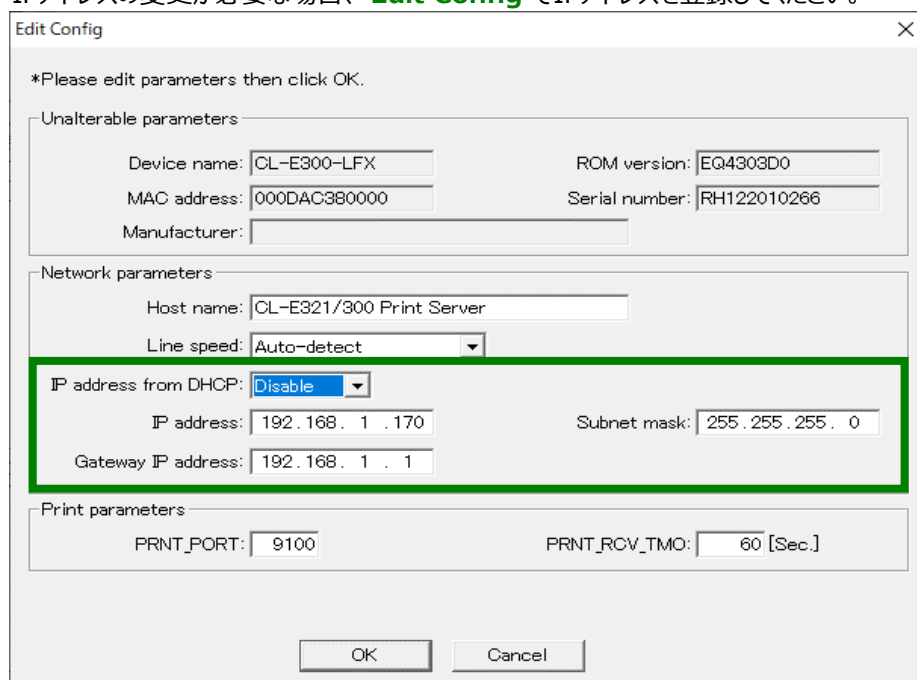
プリンターをお客様のLAN環境に接続し、電源を入れてください。

NetSeeker.exe を起動後、**Seek** ボタンで検索すると、下記のような表示となります。

プリンターが検出されない場合、IPアドレスの設定は、次項のUSB接続で行ってください。



IPアドレスの変更が必要な場合、**Edit Config** でIPアドレスを登録してください。



IPアドレス設定が終了したら、プリンターのメモリースイッチの設定変更説明へお進みください。

⇒ P.9 プリンターのメモリースイッチの設定変更 へお進みください。

USB接続で、IPアドレスを設定する。

PCとプリンターをUSBケーブルでつなぎ、プリンターの電源を入れてください。

LFX_LabelPrinterUtility.exe を起動後、**詳細** タブに移動し、

プリンターモデルは、**CL-E300-LFX** を選択してください。

PCに USB プリンターが 1 台のみ接続されている場合は、**USB_AUTO** を選択し、

受信 をするとプリンターの状態を表示します。

※ **USB_AUTO**機能は、LFX_LabelPrinterUtility1.0.1.0からの機能です。

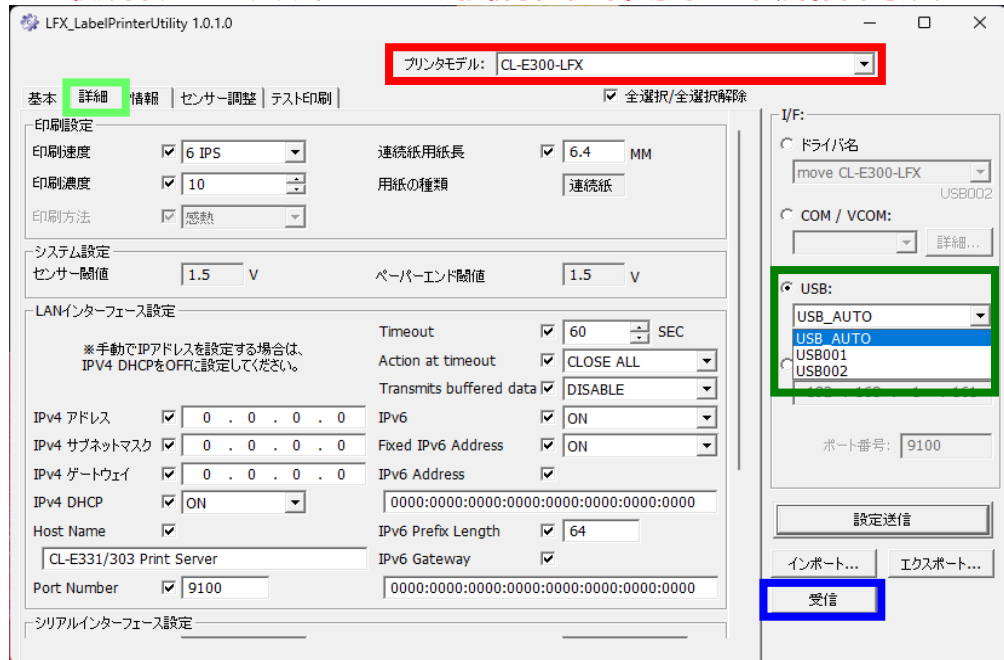
この機能のご使用を希望する場合は、弊社ダウンロードサイトから最新版を入手してください。

LFX_LabelPrinterUtility1.0.0.0をご使用の場合は、

次項『USB Port番号確認方法』からご確認下さい。

PCに USB プリンターが 1 台のみ接続されている状態で使用してください。

複数台の USB プリンターが PC に接続されている状態では正しく動作しません。



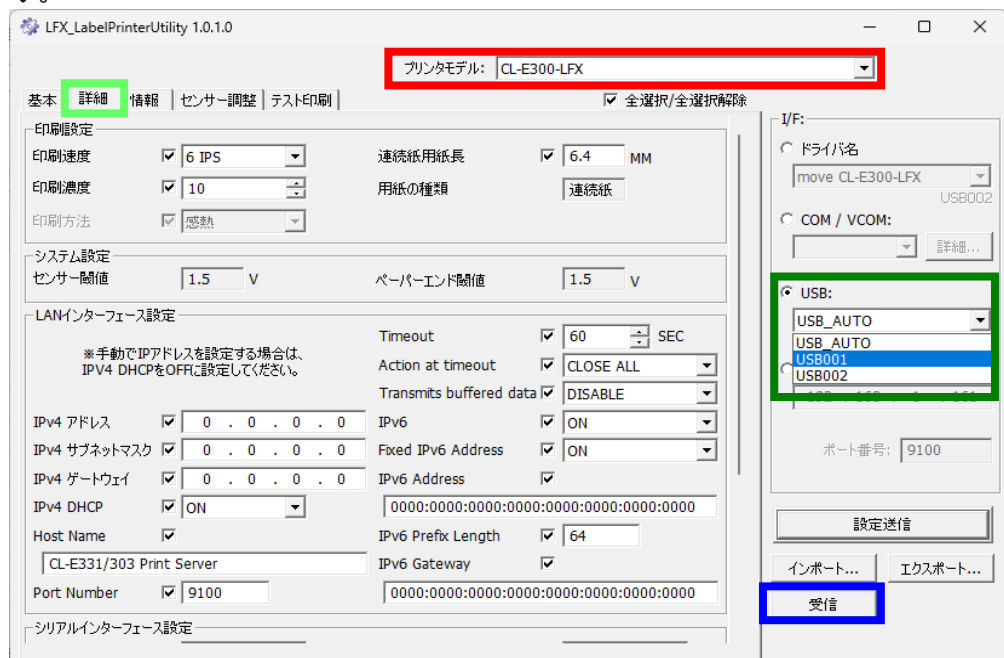
複数台のUSBプリンターがPCに接続されている状態の場合は、以下をお試し下さい。

I/F は **USB** を選択し、対象プリンターに割り当てられている **USB Port番号** を選んでください。

その後、**受信** をするとプリンターの状態を表示します。

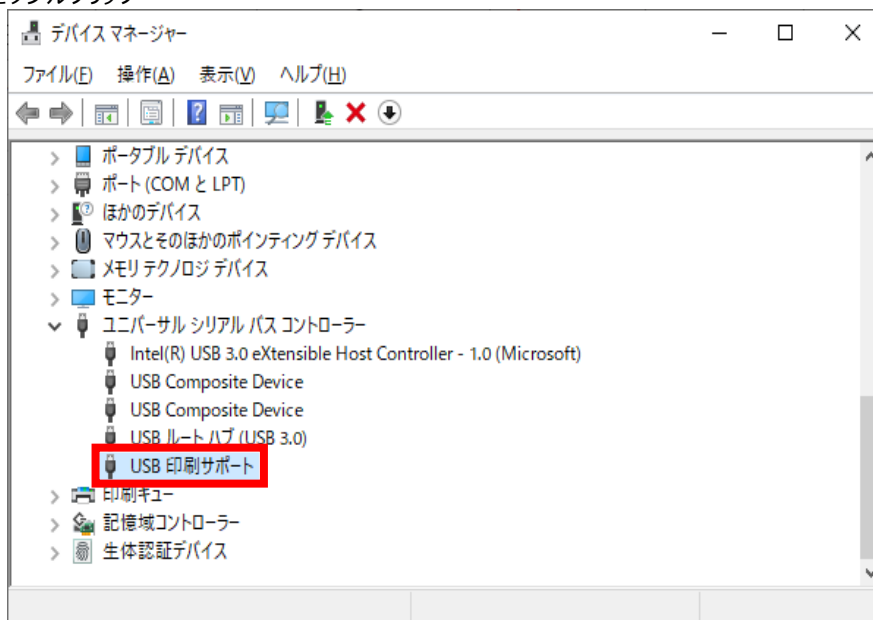
(『受信』は、プリンターをリセットしてから受信するので、多少時間が掛かります。)

USB Port番号が不明な場合は、次項の USB Port番号確認方法でUSB Port番号 を確認して下さい。

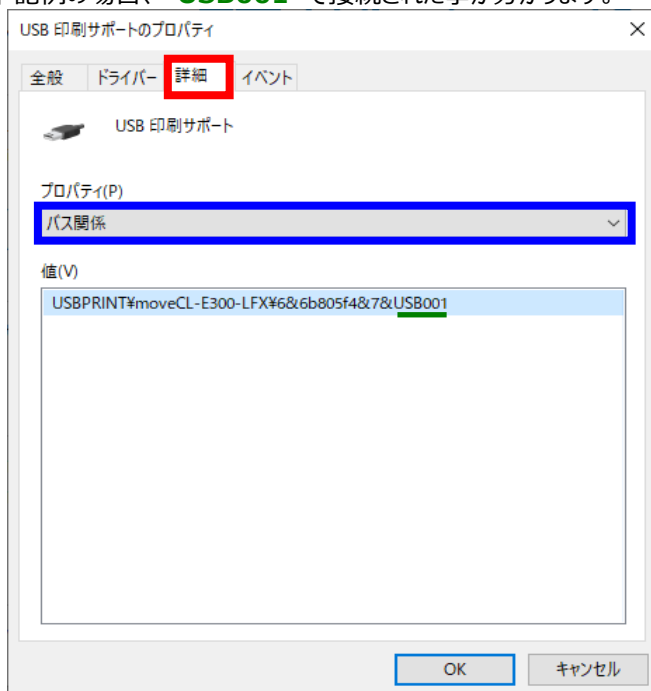


USB Port番号確認方法

デバイスマネージャー >> ユニバーサルシリアルバスコントローラー >> **USB印刷サポート**
をダブルクリック



USB印刷サポートのプロパティ の **詳細** で **バス関係** を選択
下記例の場合、**USB001** で接続された事が分かります。



LFX_LabelPrinterUtility.exeでIPアドレスを登録

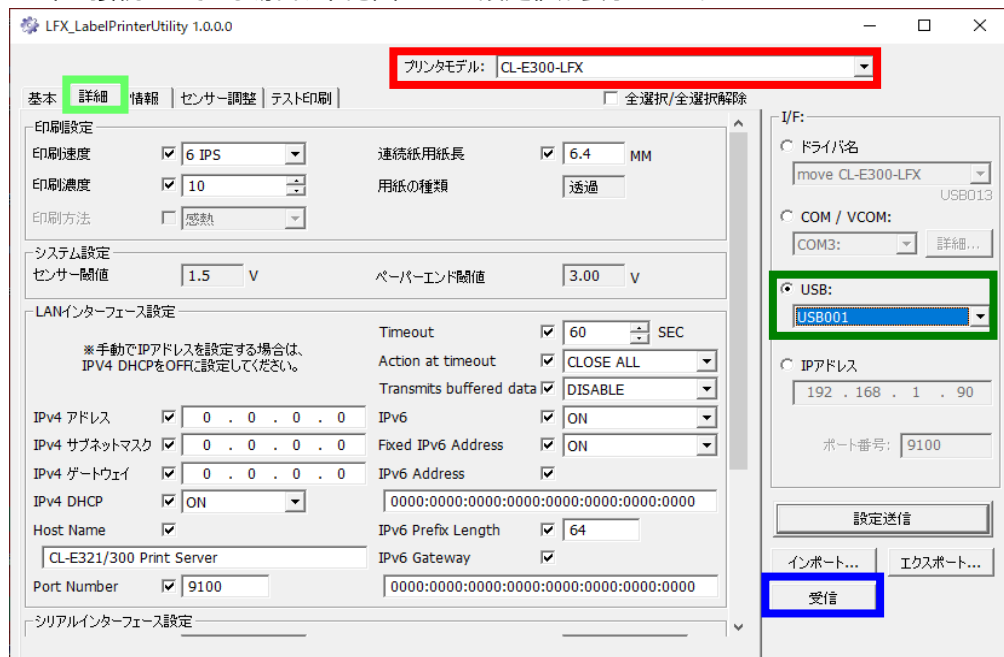
LFX_LabelPrinterUtility.exe を起動後、**詳細**に移動し、下記選択をして **受信** をクリック

プリンタモデル : **CL-E300-LFX** を選択

I/F : **USB** を選択し、前頁で取得した **USB番号** を選択。

(『受信』は、プリンターをリセットしてから受信するので、多少時間が掛かります。)

正常に接続されている場合、下記図のように設定値が表示されます。



全選択/全選択解除のチェックボックスを全選択解除状態にします。

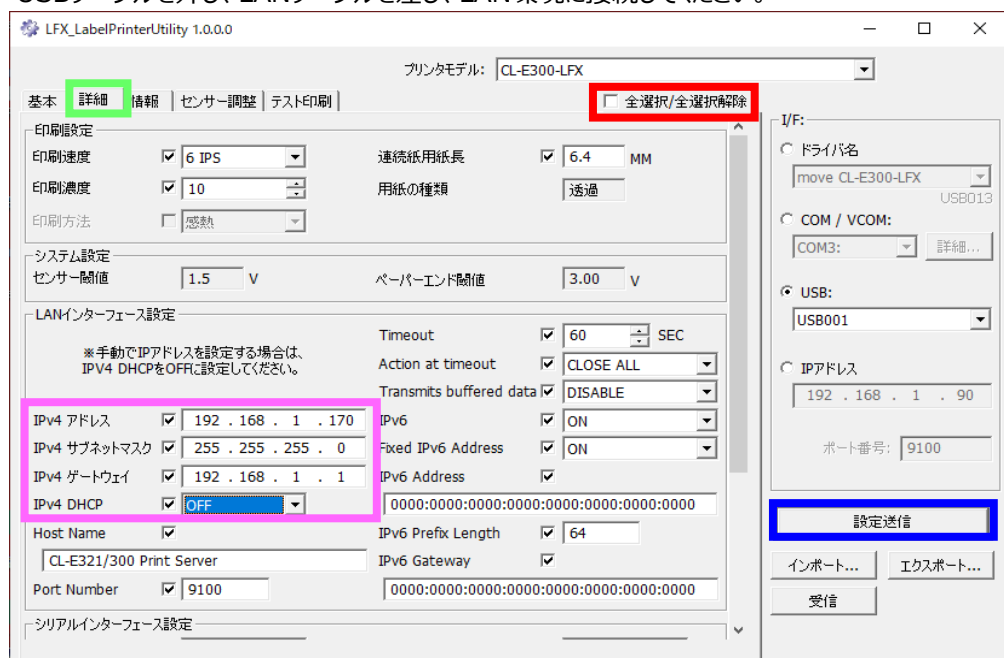
IP Addressに関する部分のみチェックし、**IP Address**設定値を入力後、

設定送信 をクリックしてIP Address情報をCL-E300-LFXへ送信してください。

IP AddressをStaticで固定したい場合は、DHCPを **OFF** にしてください。

設定送信クリック後、リセット音が鳴ります。

USBケーブルを外し、LANケーブルを差し、LAN環境に接続してください。



IPアドレス設定が終了したら、プリンターのメモリースイッチの設定変更説明へお進みください。

⇒ P.9 プリンターのメモリースイッチの設定変更 へお進みください。

シリアル

シリアルで接続 PCのシリアル設定を下記プリンター初期値に合わせる
ボーレート：9600bps、パリティ：無し、データ長：8ビット、ストップビット：1ビット
プリンターの初期値で使用する場合は、LFX_LabelPrinterUtility.exe でシリアル通信設定を
変更する必要はありません。

必要に応じてLFX_LabelPrinterUtility.exeで、プリンターのシリアル通信設定を変更してください。

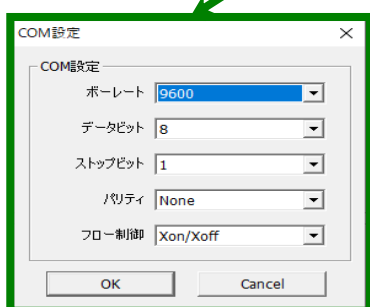
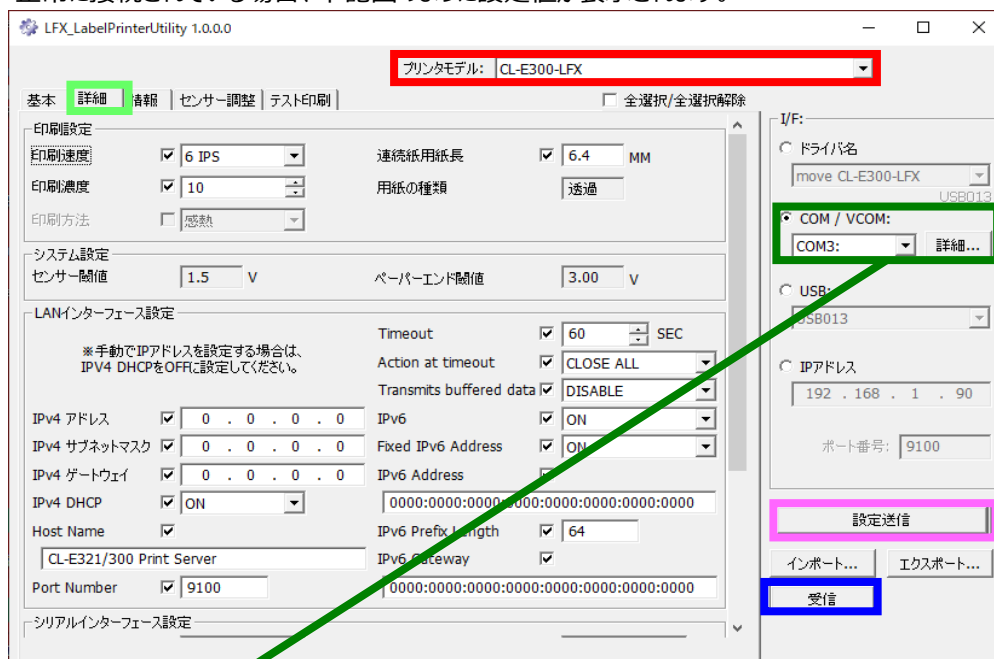
LFX_LabelPrinterUtility.exe を起動後、詳細に移動し、下記選択をして 受信 をクリック

プリンタモデル : **CL-E300-LFX** を選択

I/F : **COM/VCOM** を選択し、詳細 でPCの設定をプリンターに合わせる。

(『受信』は、プリンターをリセットしてから受信するので、多少時間が掛かります。)

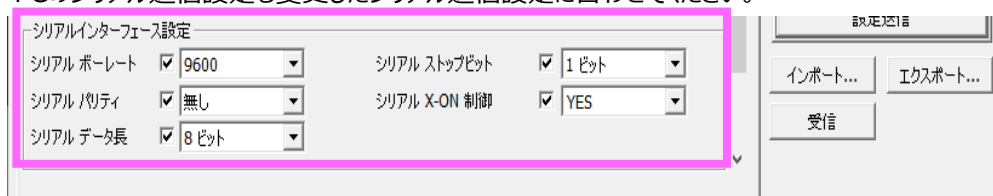
正常に接続されている場合、下記図のように設定値が表示されます。



LabelPrinterUtility.exeの設定項目をスクロールすると、オプションインターフェイス設定メニューが表示されます。

ボーレート/パリティ等変更が必要な項目にチェックを入れ、
値を変更して **設定送信** すると、シリアル通信設定が変更されます。

PCのシリアル通信設定も変更したシリアル通信設定に合わせてください。



プリンターのメモリスイッチの設定変更

製品出荷時は、お客様要求に合わせた設定となっている為、

基本的には、プリンターのメモリスイッチの変更は必要ございません。（『透過』設定になっています。）

メモリスイッチの変更が必要無い場合は、P.11 Windowsドライバのインストールへお進みください。

製品出荷時と異なる設定にする場合は、**LFX_LabelPrinterUtility.exe** で変更する事が可能です。

ラベルの種類を『ギャップ付ラベル(透過)』又は『ブラックマーク付きラベル(反射)』に変更する場合は、**『基本』**タブで簡単に変更出来ます。

LFX_LabelPrinterUtility.exe を起動後、詳細 に移動。

LFX_LabelPrinterUtility.exe の起動画面



LFX_LabelPrinterUtility.exe

1.0.1.0以降のお客様は、

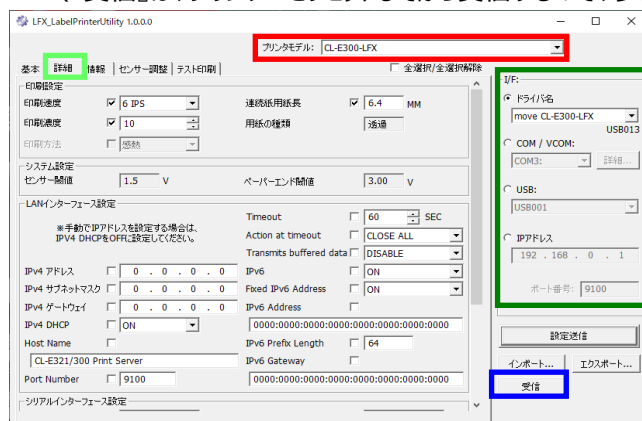
『詳細』に移動せず、『基本』の状態での受信とインポート/エクスポートの操作が可能です。

詳細 に移動後、下記設定をして **受信** をクリックすると、現在のCL-E300-LFXの状態が確認できます。

プリンタモデル : **CL-E300-LFX** を選択

I/F : **接続方法を選択。**

（『受信』は、プリンターをリセットしてから受信するので、多少時間が掛かります。）



基本 タブに戻り、用紙の種類にチェックを入れ、『ギャップ付ラベル(透過)』又は『ブラックマーク付きラベル(反射)』を選択し、『設定送信』をクリックするとプリンターのリセット音が鳴り、設定した状態になります。



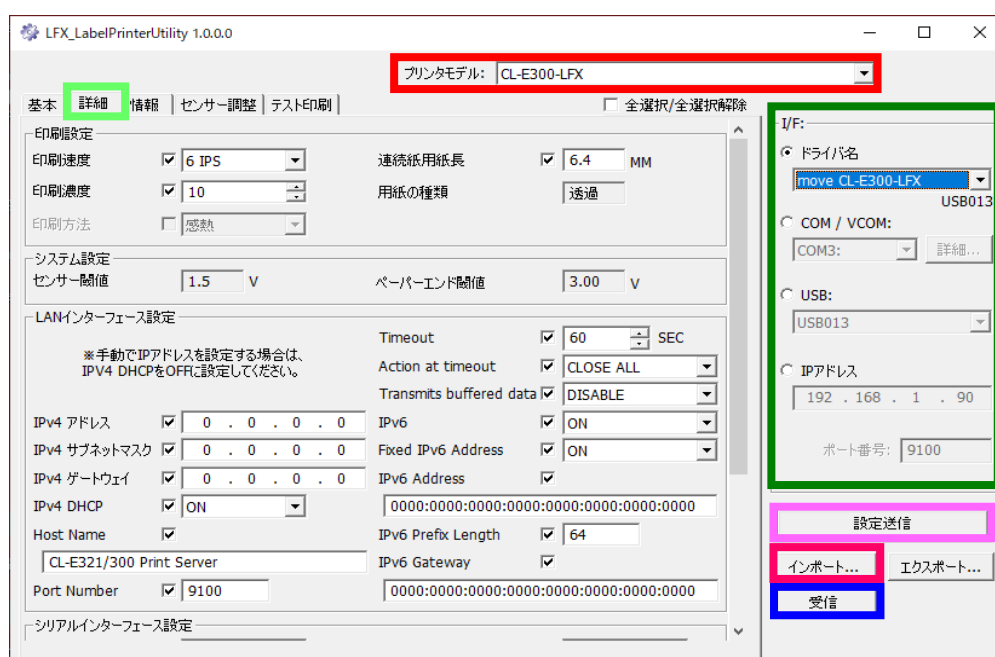
※注意※ 弊社から購入したダイカットラベルは、ブラックマークが付いていても『透過』を選択してください。

ギャップ付ラベル(透過) の設定を簡単に変更出来るインポートファイルを準備しました。
LFX_LabelPrinterUtility.exeで下記ファイルをインポートし、『設定送信』すればその設定になります。

・ CL-E300-LFX_ギャップ付ラベル(透過)設定.prn

設定をインポートし、プリンターへ設定情報を登録する方法

- 1) LFX_LabelPrinterUtility.exe を起動後、詳細 に移動。
- 2) プリントモデル : **CL-E300-LFX** を選択
- 3) I/F : **接続方法を選択。**
- 4) 『受信』をクリック (『受信』は、プリンターをリセットしてから受信するので、多少時間が掛かります。)
- 5) 『インポート』をクリックし、**CL-E300-LFX_ギャップ付ラベル(透過)設定.prn** を選択して『開く』をクリック
- 6) 『設定送信』をクリックするとプリンターのリセット音が鳴り、設定が完了します。



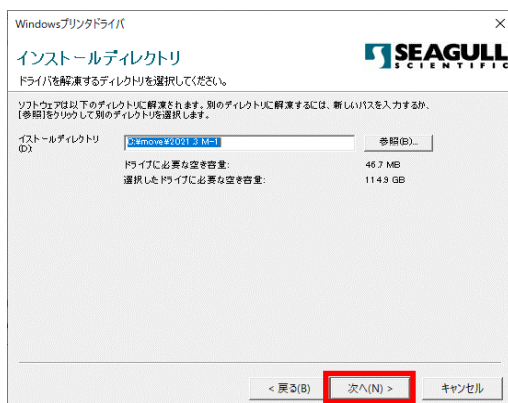
2) ドライバーのインストール

USBでご使用の場合は、まだPCとラベルプリンターを接続しないでください。

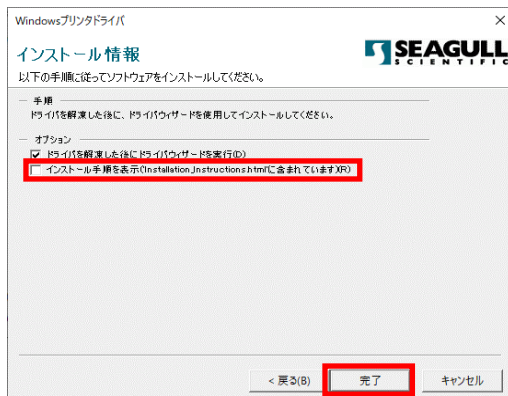
move_xxxx .x _M-x .exe をダブルクリックし、ウィザードに従って操作を進めてください。



使用許諾契約の条件に同意します(A) を選択し、『次へ』をクリック。



『次へ』をクリック。



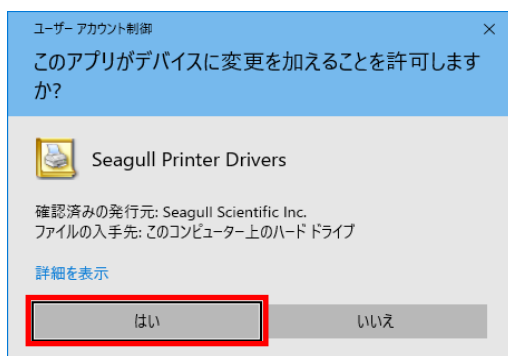
インストール手順を表示…のチェックを外し、『完了』をクリック。

英文のInstallation Windows Printer Driversを参照したい場合は、チェックは外さずに『完了』をクリックしてください。
この場合、ブラウザが自動的に立ち上がり 英文のInstallation Windows Printer Driversが確認できます。

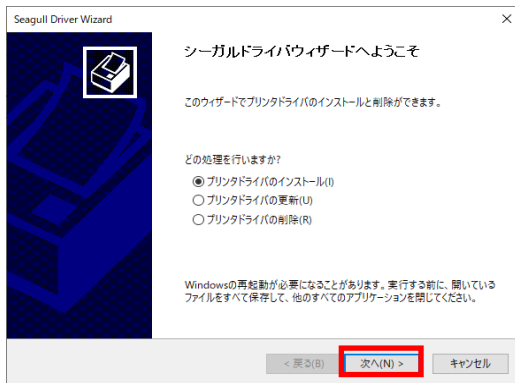
ウイルスチェックソフトが常駐している場合、Windowsのタスクバーに警告画面が出ます。



ここをクリックしてください。

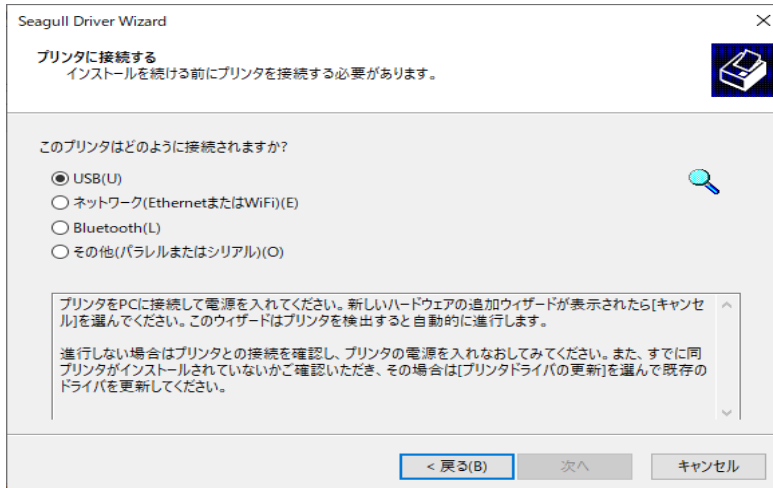


セキュリティの警告画面が出ましたら『はい』をクリックして変更を加える許可を与えてください。



プリンタドライバのインストール(I) を選択し、
『**次へ**』をクリック。

下記表示になりましたら、インターフェイス毎の設定となります。



以降、USB/LAN/シリアルでの説明が分かれています。
ご使用するインターフェイスの項目を参照してください。

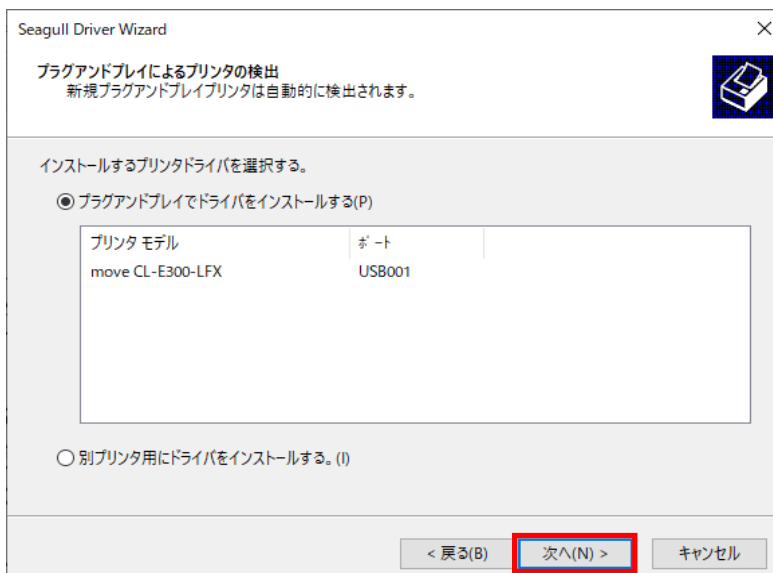
USB ⇒ 説明は、このページから始まります。
LAN ⇒ P.14へ
シリアル ⇒ P.16へ

USB

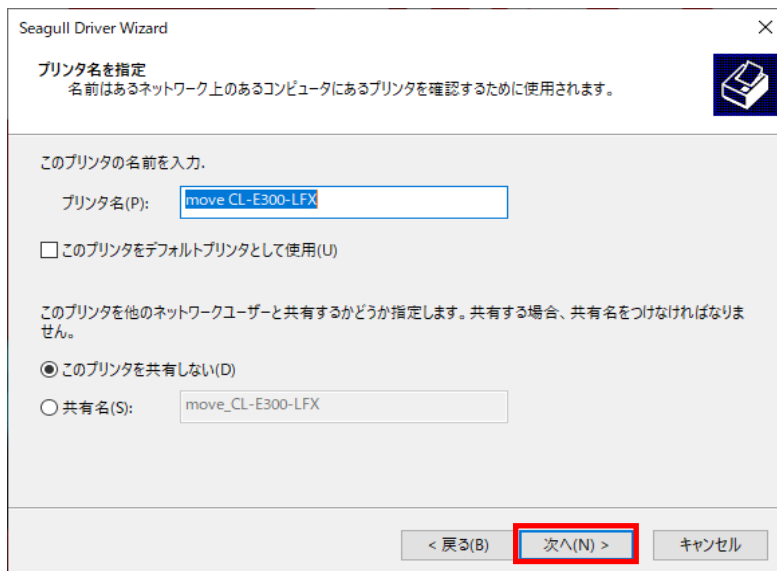
PC と プリンターをUSBケーブルでを接続し、電源を入れてください。

PnPにより、プリンターを自動認識し、自動的に下記表示になります。

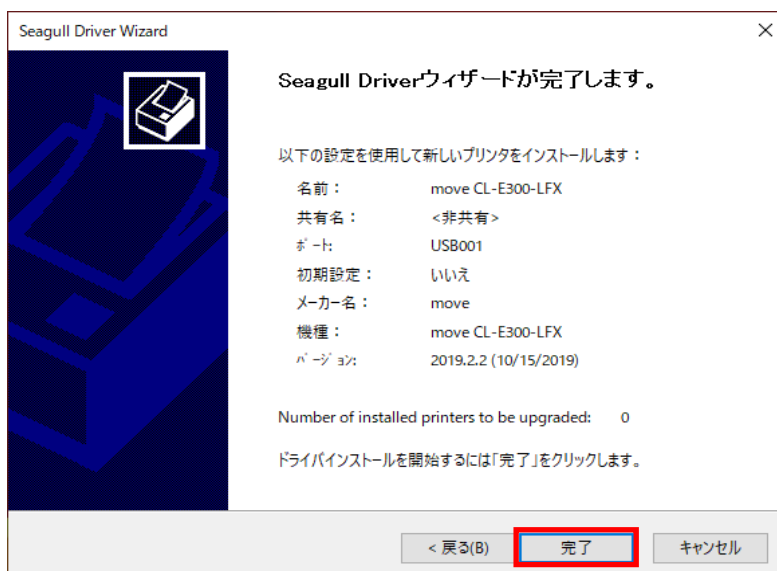
プリンターを選択し、『**次へ**』をクリックしてください。



感熱ラベルプリンター
move CL-E300-LFX



『**次へ**』をクリック。



ドライバウィザードの完了を示すウィンドが表示されます。

設定された項目を確認の上、『**完了**』ボタンをクリックします。



インストールの完了を示すウィンドが表示されます。『**閉じる**』ボタンをクリックします。

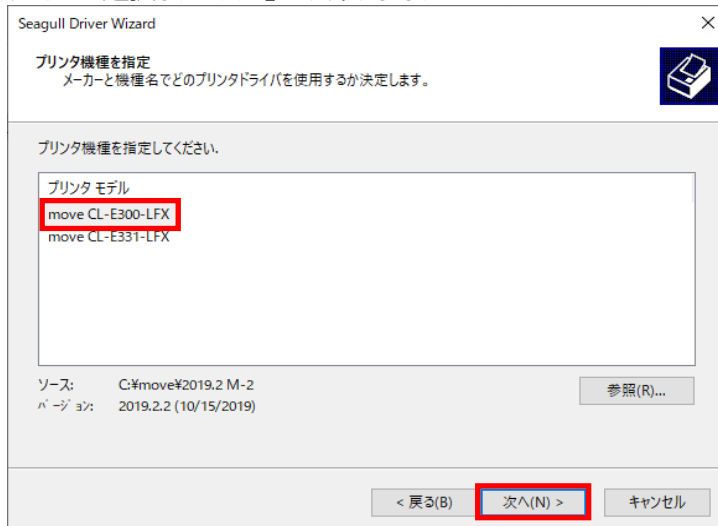
これでインストール作業は終了です。

Windowsドライバーのインストールが終了したら、ドライバーの設定へお進みください。

⇒ P.17へ

LAN

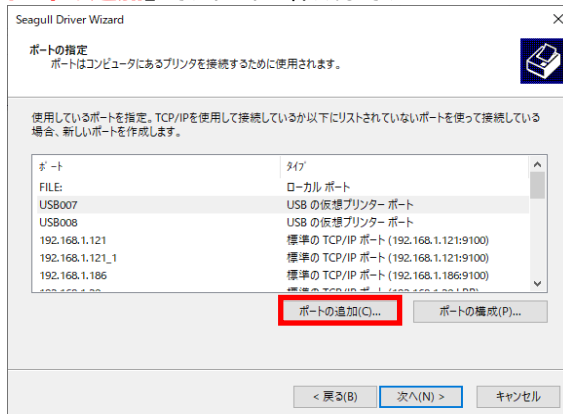
ネットワーク(EthernetまたはWiFi)を選択すると下記表示になります。
プリンターを選択し、『次へ』をクリックしてください。



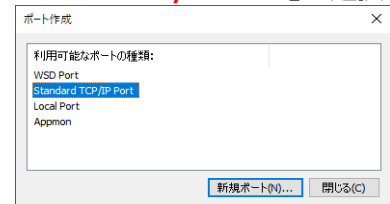
感熱ラベルプリンター
move CL-E300-LFX を選択。

熱転写ラベルプリンター
move CL-E331-LFX

『ポートの追加』で、ポートを作成してください。



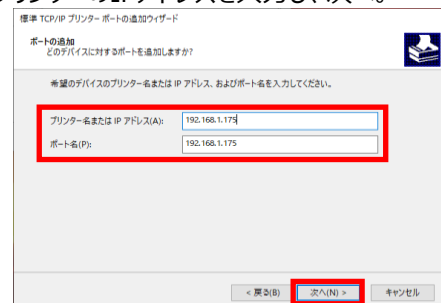
『Standard TCP/IP Port』を選択



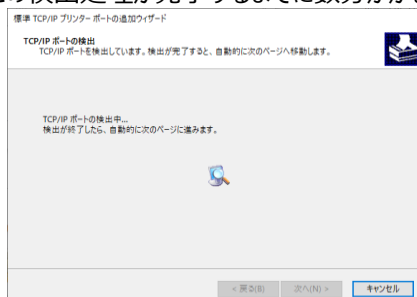
ウィザードに従って、TCP/IPプリンターポートを追加。



プリンターのIPアドレスを入力し、次へ。



「TCP/IP ポートの検出ウィンド」が表示されます。
この検出処理が完了するまでに数分かかる 場合があります。



注意)

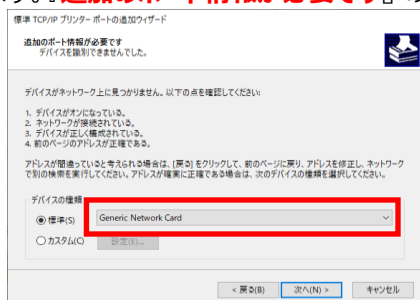
IPアドレスの入力で頭の0は
入力しないでください。
10の場合は、010と入力しないでください。

正) 192 . 168 . 10 . 5

誤) 192 . 168 . 010 . 005

誤) 192 . 168 . 010 05

プリンタの TCP/IP ポートが何らかの原因で検出されないと、『**追加のポート情報が必要です**』のウィンドが表示されます。『**追加のポート情報が必要です**』のウィンドが表示されます。

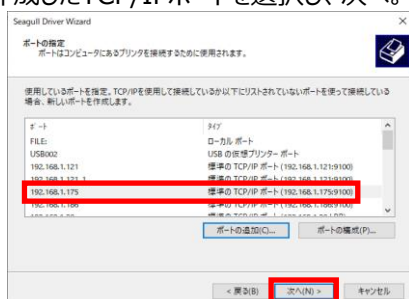


『**デバイスの種類**』の項目で、『**標準**』を選択し、『**Generic Network Card**』を選択します。※ポート設定が必要な場合は、『**カスタム**』を選択し、『**設定**』ボタンをクリックし、『**次へ**』をクリック。

プリンタの TCP/IP ポートが正しく検出されると、『**標準 TCP/IP プリンターポートの追加ウィザードの完了**』が表示されます。『**完了**』をクリック。



作成したTCP/IPポートを選択し、次へ。



プリンタ名を変更する場合は変更し、次へ。



ドライバウィザードの完了を示すウィンドが表示されます。設定された項目を確認の上、『**完了**』をクリック。



インストールの完了を示すウィンドが表示されます。『**閉じる**』ボタンをクリック。



これでインストール作業は終了です。

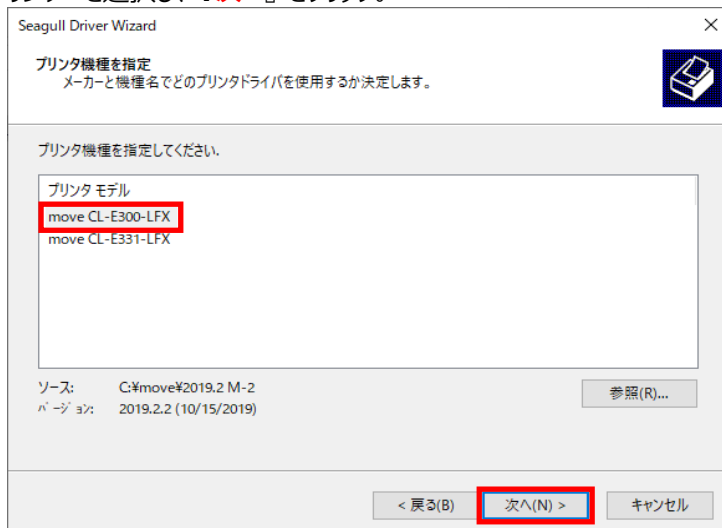
Windowsドライバのインストールが終了したら、ドライバの設定へお進みください。

⇒ P.17へ

シリアル

その他(シリアルまたはパラレル)を選択すると下記表示になります。

プリンターを選択し、『**次へ**』をクリック。



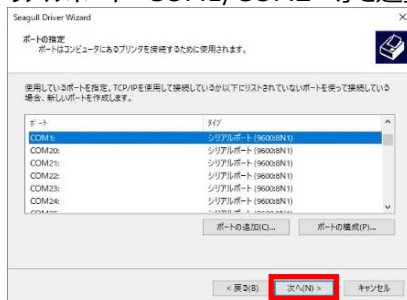
感熱ラベルプリンター

move CL-E300-LFX を選択。

熱転写ラベルプリンター

move CL-E331-LFX

シリアルポート COM1/COM2 等を選択し、次へ。



プリンタ名を変更する場合は変更し、次へ。



ドライバウィザードの完了を示すウィンドが表示されます。

設定された項目を確認の上、『**完了**』をクリック。



インストールの完了を示すウィンドが表示されます。『**閉じる**』をクリック。



これでインストール作業は終了です。

3) ドライバーの設定

ドライバーの初期値は、用紙ストック 連続紙ラベル_2 (80.0ミリ x 1270.0ミリ) となっております。
印刷の向き 縦180°

必要に応じて設定を変更してください。

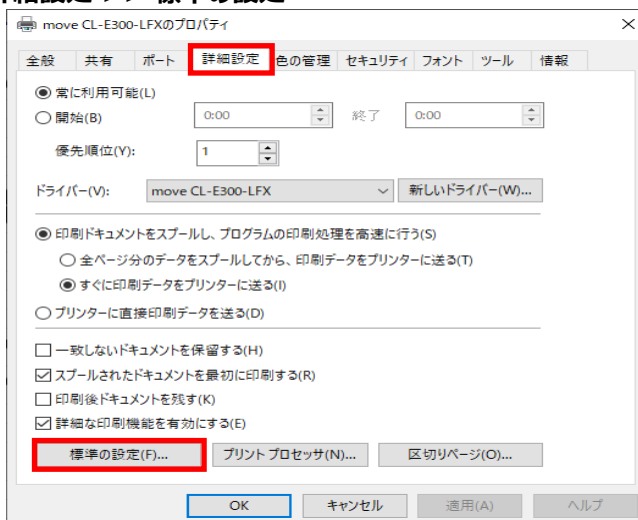
コントロールパネル >> デバイスとプリンター で、対象プリンターのアイコンの上で右クリックし、**プリンタのプロパティ** にて各種設定が変更可能です。

用紙や印刷方向等の設定は、全般 >> 基本設定 で変更しますが
アプリによっては、詳細設定 >> 標準の設定 を参照するものがございます。
 適切な方の設定を変更してください。

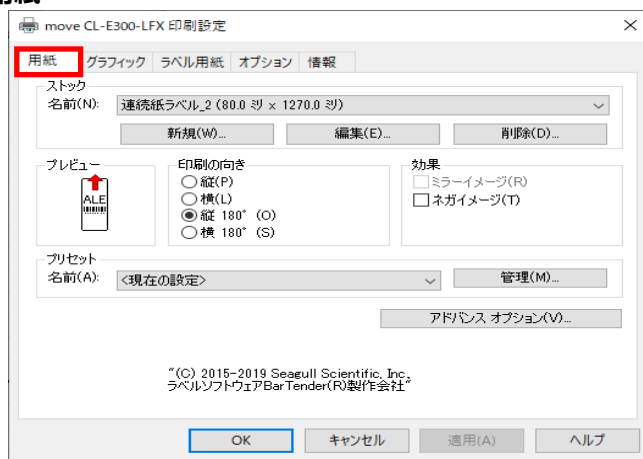
全般 >> 基本設定



詳細設定 >> 標準の設定



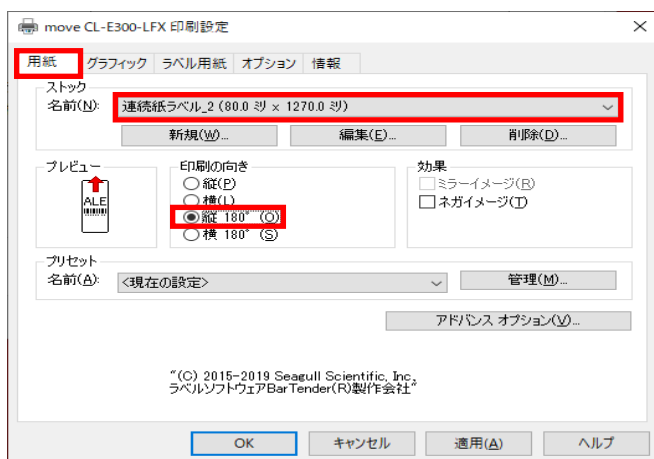
用紙



ストック

弊社で販売しているラベルは
予め登録しております。
お客様のラベルに合わせてラベルの
サイズをご指定ください。

※アプリによっては、一番最初の
USER を参照するものがございます。
その場合、**USER** の値を『編集』にて
お客様の用紙の設定に変更してください。

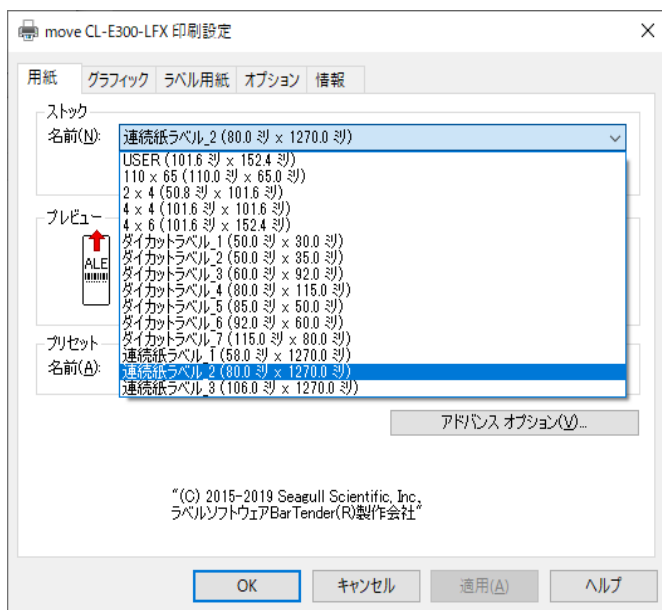


ストック

ドライバー初期値
連続紙ラベル_2

印刷の向き

ドライバー初期値
縦180°



ストックの登録

弊社の標準ラベルのサイズは
予め登録されております。

使用されるラベルサイズを選択してください。
また、選択肢に無いサイズのラベルについては、
次ページの手順にてストックの登録をお願いします。

ストックの登録

ストック名は、用紙の名前です。用紙が分かり易い名前を付ける事をお勧め致します。
各種サイズのテキストボックスにカーソルを移動すると、右図に位置を示す矢印が出て来ます。

ダイカッタベルの場合

The screenshot shows a software dialog box titled "新規ストック" (New Stock). It contains the following fields and options:

- ストック** (Stock):
 - 名前(N): A text input field containing "新規ストック" (New Stock).
 - 種類(Y): A dropdown menu set to "ダイカッタベル" (Die-cut label).
- サイズ** (Size):
 - 幅(W): 50.0 mm
 - 高さ(H): 35.0 mm
- 両端の台紙部分の幅** (Width of the blank area at both ends):
 - 左端(L): 4.0 mm
 - 右端(R): 4.0 mm

On the right side of the dialog is a **プレビュー** (Preview) window showing a rectangular label with a thick border. At the bottom of the dialog are three buttons: **OK**, **キャンセル** (Cancel), and **ヘルプ** (Help).

印刷の方向

印刷の方向を変える事により、下記オリジナルのラベルデザインの印刷が変わります。

お客様は、印刷の回転を意識する事無く、ラベルのデザインが可能となります。

オリジナルラベルデザイン

荷受人	〒101-0048 千代田区神田司町2-2-2 大森ビル6F 株式会社ムーブ 東京営業所 TEL: 03-5577-5741	
荷送人	〒422-8067 静岡市駿河区南町11番1号 静銀ビル6F 株式会社ムーブ本社 TEL: 054-288-6111	
20/05/14	総個数 10	a123456789a

縦

荷受人	〒101-0048 千代田区神田司町2-2-2 大森ビル6F 株式会社ムーブ 東京営業所 TEL: 03-5577-5741	
荷送人	〒422-8067 静岡市駿河区南町11番1号 静銀ビル6F 株式会社ムーブ本社 TEL: 054-288-6111	
20/05/14	総個数 10	a123456789a

縦180°

20/05/14	総個数 10	a123456789a
荷受人	〒101-0048 千代田区神田司町2-2-2 大森ビル6F 株式会社ムーブ 東京営業所 TEL: 03-5577-5741	
荷送人	〒422-8067 静岡市駿河区南町11番1号 静銀ビル6F 株式会社ムーブ本社 TEL: 054-288-6111	

印刷方向

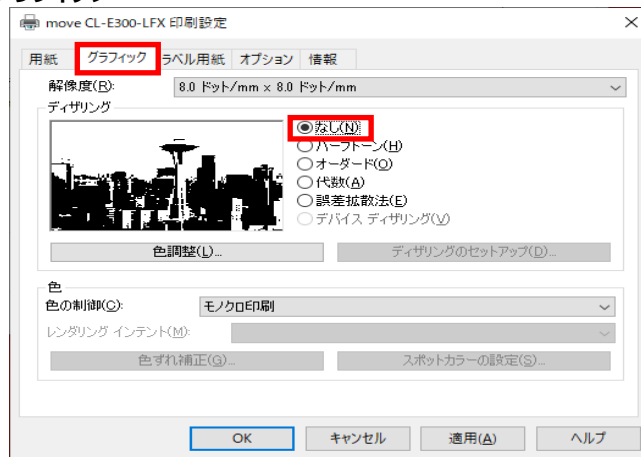
横

荷受人	〒101-0048 千代田区神田司町2-2-2 大森ビル6F 株式会社ムーブ 東京営業所 TEL: 03-5577-5741	
荷送人	〒422-8067 静岡市駿河区南町11番1号 静銀ビル6F 株式会社ムーブ本社 TEL: 054-288-6111	
20/05/14	総個数 10	a123456789a

横180°

20/05/14	総個数 10	a123456789a
荷受人	〒101-0048 千代田区神田司町2-2-2 大森ビル6F 株式会社ムーブ 東京営業所 TEL: 03-5577-5741	
荷送人	〒422-8067 静岡市駿河区南町11番1号 静銀ビル6F 株式会社ムーブ本社 TEL: 054-288-6111	

グラフィック



ディザリング

ドライバー初期値
なし

初期値は、画像のバーコード・QRコードを鮮明に印刷するのに適しています。

ロゴ等を印刷する場合は、お好みで調整可能です。

ラベル用紙



ラベルセンサー

ドライバー初期値
現在の設定を使用

プリンターの初期値設定に従います。

用紙の処理

ドライバー初期値
印刷後動作
カット動作
開始オフセット
終了オフセット

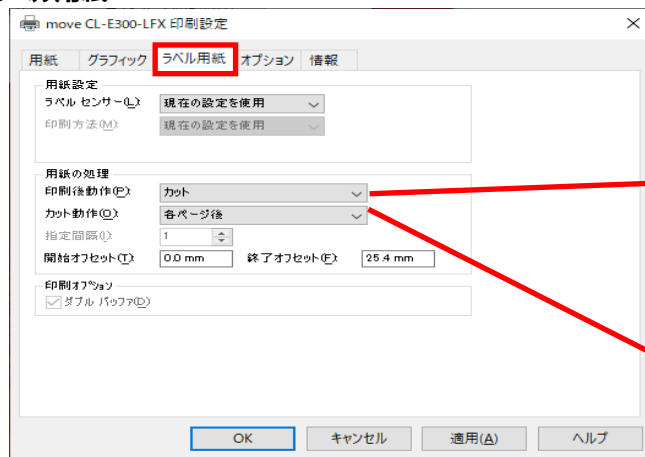
カット
各ページ後
0.0mm
25.4mm

毎ラベルのカットではなく、10枚単位でカットしたい場合は、『指定の間隔後』を選択し、指定間隔を『**10**』に設定してください。

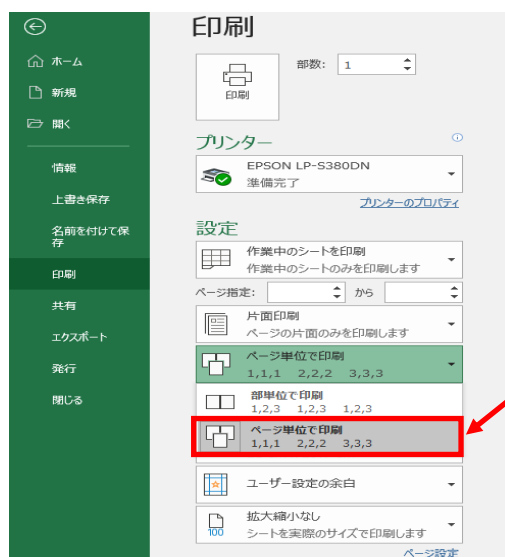
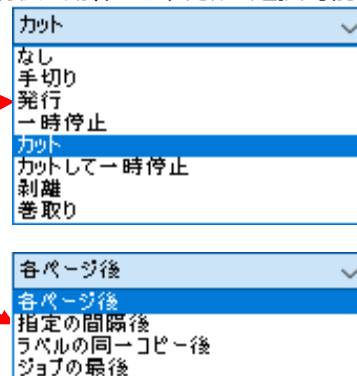
上記設定で1枚・10枚・15枚を印刷すると、下記のようにカットします。

1枚印刷した場合	1枚印刷してカットします。
10枚印刷した場合	10枚印刷してカットします。
15枚印刷した場合	10枚印刷してカットし、その後5枚印刷してカットします。

ラベル用紙

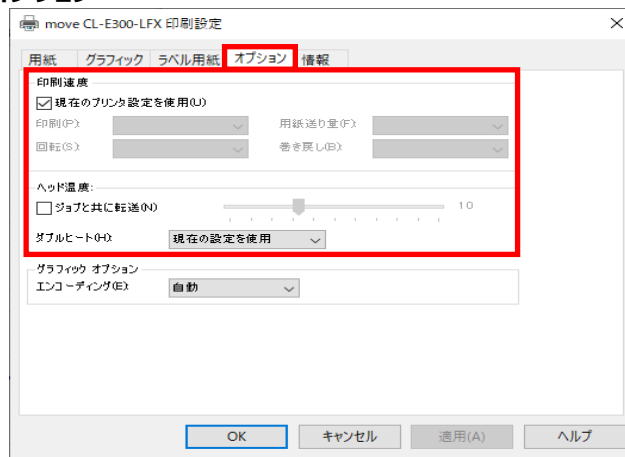


カット 各ページ後 に設定されています。
印刷後の動作は、下記から選択可能です。



Excel等から印刷の場合、『各ページ後』以外を選択する場合は、『ページ単位で印刷』を選択してください。

オプション



弊社のラベルをご使用の場合、
プリンター本体の初期値での印刷を推奨致します。

印刷濃度を推奨値(10)でご使用する場合は、ド
ライバーから印刷濃度を送信する必要はございませ
ん。

印刷濃度を調整したい場合は、
ヘッド温度 ジョブと共に転送 にチェックを入れ、お
好みの印刷濃度に調整してください。
設定範囲は、0～30 です。
チェックを入れない場合は、プリンター本体の値が使
用されます。
CL-E300-LFXの出荷時設定の印刷濃度は10で
す。

ダブルヒート を選択すると印刷濃度は濃くなります
が、印刷スピードが落ち、プリントヘッドのプリントヘッ
ドの寿命が極端に短くなるので、お勧めしません。

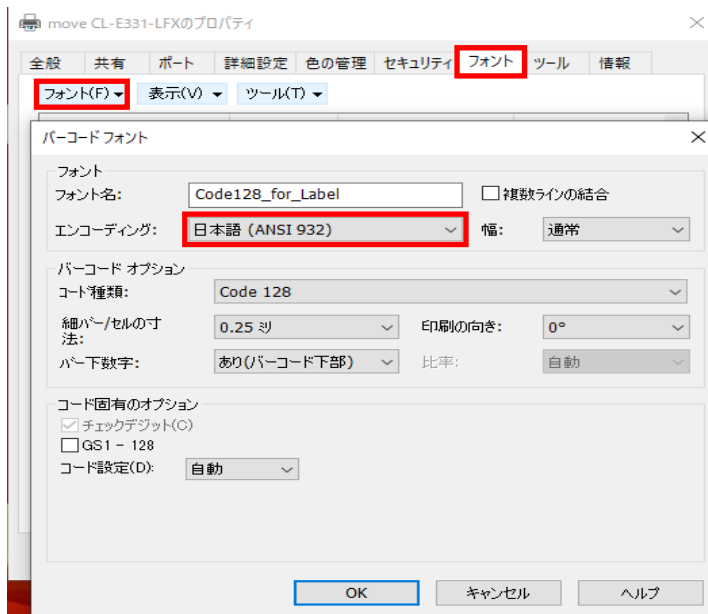
弊社では、お客様のご使用用途に準じてCL-E300-LFXの設定を変更して販売しております。

使用用途	センサー	印刷濃度
ラベル印刷にご使用のお客様	基本は連続紙で出荷 お客様のご指定に応じて反 射・連続紙で出荷	基本は10で出荷 お客様のご指定に応じて値 を変更して出荷

フォント

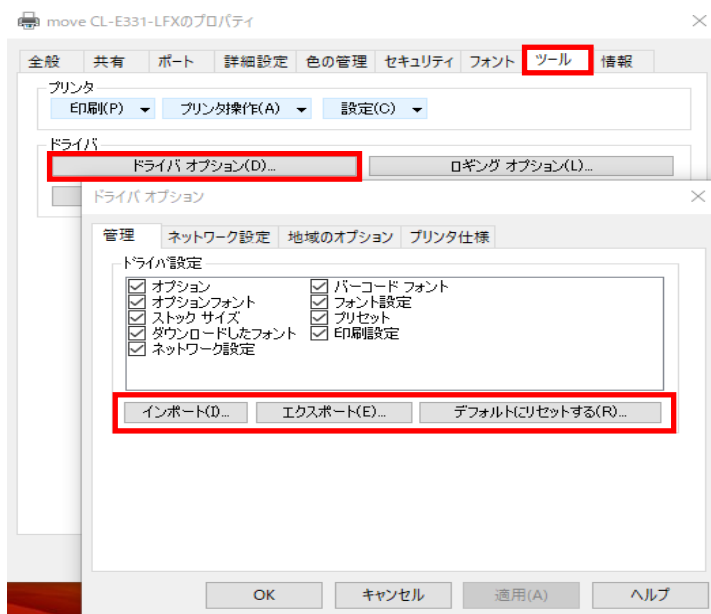
バーコードフォントを登録すると、Label Canvas 等のアプリからバーコードフォントで印刷できます。
フォント名は、自由に設定可能です。ラベル内にサイズが異なる2種類のCode128を印刷したい場合、Code128_Big / Code128_Small 等のフォント名にし、各々のサイズを変えてCode128を2種類登録して使い分ける事が可能です。

弊社のラベルレイアウトアプリ Label Canvas でバーコードフォントを使用する場合は、エンコーディングを **日本語 (ANSI 932)** にする必要があります。



ツール

ドライバー設定のエクスポート・インポートや初期値に戻す事が出来ます。



また、印刷履歴や印刷ログ、それに応じた印刷内容を記録する設定はロギングオプションから設定可能です。